

米山奨学生終了者 終了式・歓送会 報告

米山奨学委員会 委員

三木得生 (豊中南RC)

日時：2014年3月2日(日)

場所：ハイアットリージェンシー大阪

第2660地区米山奨学生終了者終了証授与式ならびに歓送会を開催いたしました。当日は18名の奨学生をはじめ、福家G、若林米山奨学部門顧問PG、泉GE、正岡AG、磯田地区研修委員、各クラブの会長、カウンセラー、米山奨学委員長、指導教官、米山地区委員、米山学友など総勢68名が参加しました。

第1部は終了式です。西谷米山奨学委員長より「四つのテストに示されたロータリー精神を忘れずにそれぞれの持ち場で奮闘し、ロータリーとの絆を持ち続けてほしい」との歓送の言葉が贈られ、福家Gより奨学生一人一人に終了証書が手渡されました。

終了生を代表してガーリントン・イアン・スチュアート氏が流ちょうな日本語で「この奨学金のおかげで勉学に集中できた、また多くのロータリアンから好意をいただき、人間と人間の繋がりができたことは幸せなことであった。次の人をサポートできる人間になりたい」との決意表明がなされました。

福家Gは「激励の言葉」として“Enter to Learn, go forth to serve”という言葉を奨学生に与えられました。「これからは終了生が社会のニーズに応える活動＝サービスに努めてもらいたい、今後も互いに連絡をとりあい、交流を続けていきましょう」と訴えられました。

第2部は懇親会です。若林顧問から「あなたがたは、ロータリアンを通じてロータリーを知り学び、多くの友を得た。これからがスタートである、等しく人間として

平和な世界をつくるために活躍してほしい」との祝辞が述べられました。泉GEの音頭で乾杯し、開宴となりました。

懇親会は古城米山地区委員の軽妙な司会でたいそう盛り上がりました。終了生挨拶では、鄭鍾恩(大阪難波)甘耿(大阪北)両氏がロータリーへの感謝と他人のために頑張ることの素晴らしさを学んだと発言されました。

カウンセラーを代表して、田ノ本(大阪なにわ)北村(大阪中之島)両会員の挨拶があり、第4回米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト最優秀賞を獲得した陳思暢氏(守口イブニング)の記念のスピーチも行われました。「何でも自分中心の考え方をしていたが、ロータリアンとのつきあいの中で寛容の心、思いやりの気持ち、相手の立場に立って考えることの大切さを学んだ」との話には会場から大きな拍手が起こりました。

これ以降、次々に飛び入りのスピーチがはじまり、あっという間に予定の時間が過ぎてしまいました。米山学友会(関西)会長の何玉翠さんはじめ5名の学友から入会のお誘いがあり、最後に次年度地区米山委員長近藤菜穂子会員より閉会の挨拶がありました。全員で「手にてつないで」を大合唱してお開きとなりました。

本年度も無事に24名の修了生を送り出すことができましたのは、寄付金を寄せていただいた一人一人のロータリアンをはじめ、関係者の皆様方のご協力があったのととあらためて感謝申し上げ報告といたします。

